

# 個人投資家様向け会社説明資料



ヴィンキュラム ジャパン株式会社

平成23年12月10日

**JASDAQ**

Listed Company 3784

# 会社概要

# あなたの街のヴィンキュラム

ご存知でしたか？

暮らしのいろんな所で私たちのシステムは役立っています。



POSレジ

ネット  
スーパー

- ・欠品によりほしい商品がない
- ・在庫の補充を忘れて商品の販売機会を失った
- ・お店に好みの商品がない
- ・レジ前で長蛇の列(いらいらと待ち時間)
- ・劇場に行かないと映画が見れるかわからない
- ・時間がなくて買い物にいけない

ポイント  
カード

シネコン  
チケット  
予約

## 会社概要

---

- 会社名 : ヴィンキュラム ジャパン株式会社
- 英語名 : Vinculum Japan Corporation(略称名: VJC)
- 設立 : 1991年2月20日
- 上場市場 : 大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)  
: 証券コード3784
- 資本金 : 5億42百万円(2011年3月末現在)
- 売上高 : 92億73百万円(2011年3月期 連結)
- 代表者 : 代表取締役社長 瀧澤 隆
- 従業員 : 619名(2011年9月末現在 連結)
- 事業所 : 本社(大阪市北区)  
: 堂島センター(大阪市北区)  
: 東京事業所(東京都墨田区)  
: 幕張事業所(千葉市美浜区)  
: 仙台事業所(仙台市青葉区)

人々の暮らしと企業のビジネス活動の接点を情報システム  
技術で融合し豊かな社会の実現に貢献する



VINCULUM JAPAN

消費者と企業を結ぶ『絆（VINCULUM）』となる  
システムやサービスを提供する。

# 当社グループの紹介

## ■ 連結子会社・孫会社

### ◆ 国内子会社

- 株式会社4U Applications
- 株式会社エス・エフ・アイ

### ◆ 海外子会社・孫会社

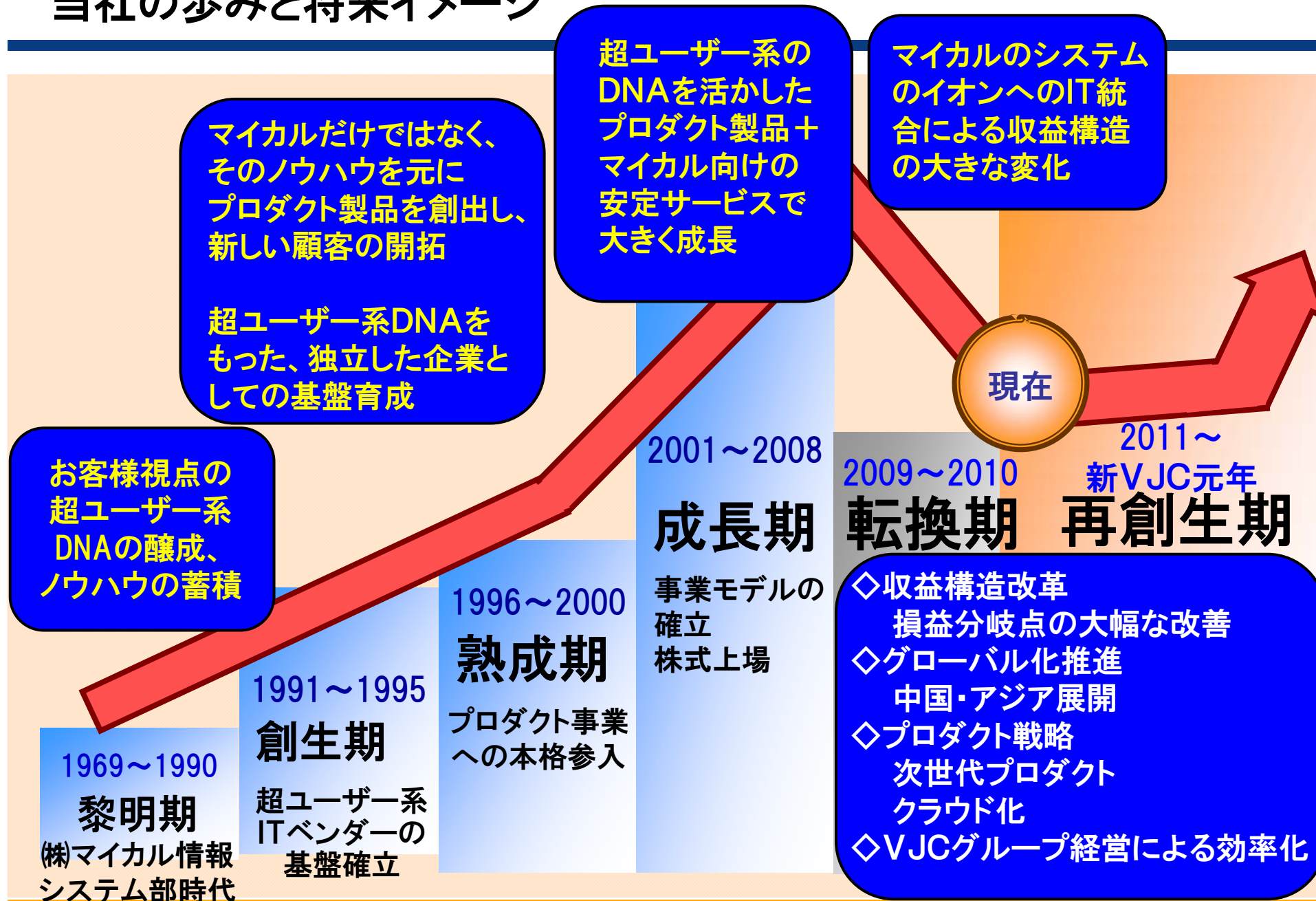
- 維傑思科技(杭州)有限公司  
(呼称: ヴィンキュラム チャイナ)
- 上海新域系統集成有限公司  
(呼称: 上海ヴィンキュラム)

## ■ 関連会社

- FMSソリューション株式会社  
〈2011年12月7日設立〉



# 当社の歩みと将来イメージ



# 事業内容



# 当社の主要なお客様紹介

✓総合小売業



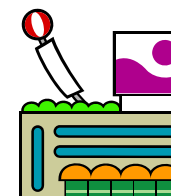
大手総合小売業グループ

✓スーパー



首都圏の大手スーパー

✓百貨店



大手都市百貨店、地方百貨店など

✓ドラッグストア



最大手ドラッグストア様など

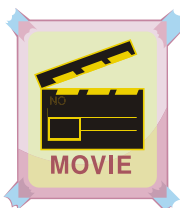


✓アパレル



神戸大手アパレル専門店様など

✓シネコン



最大手シネコン様

✓飲食



飲食レストラン  
(カフェレストランなど)様

✓総合FMS



総合ファシリティ  
マネジメント

## 当社のお客様紹介(その①)

### <<前方スクリーンをご覧ください>>

#### ■イオングループ様

- イオン株式会社
- イオンモール株式会社
- マックスバリュ西日本株式会社、マックスバリュ関東株式会社 etc
- 株式会社光洋

#### ■百貨店、スーパーマーケット様

- 株式会社県民百貨店
- 株式会社東急百貨店
- 株式会社ライフコーポレーション
- 株式会社平和堂

#### ■ドラッグストア様

- 株式会社マツモトキヨシホールディングス
- タキヤ株式会社 (店舗名:ウエルシア)「イオングループ様ドラッグストア」

## 当社のお客様紹介(その②)

### <<前方スクリーンをご覧ください>>

#### ■アパレル、ファーストフード、シネコン様

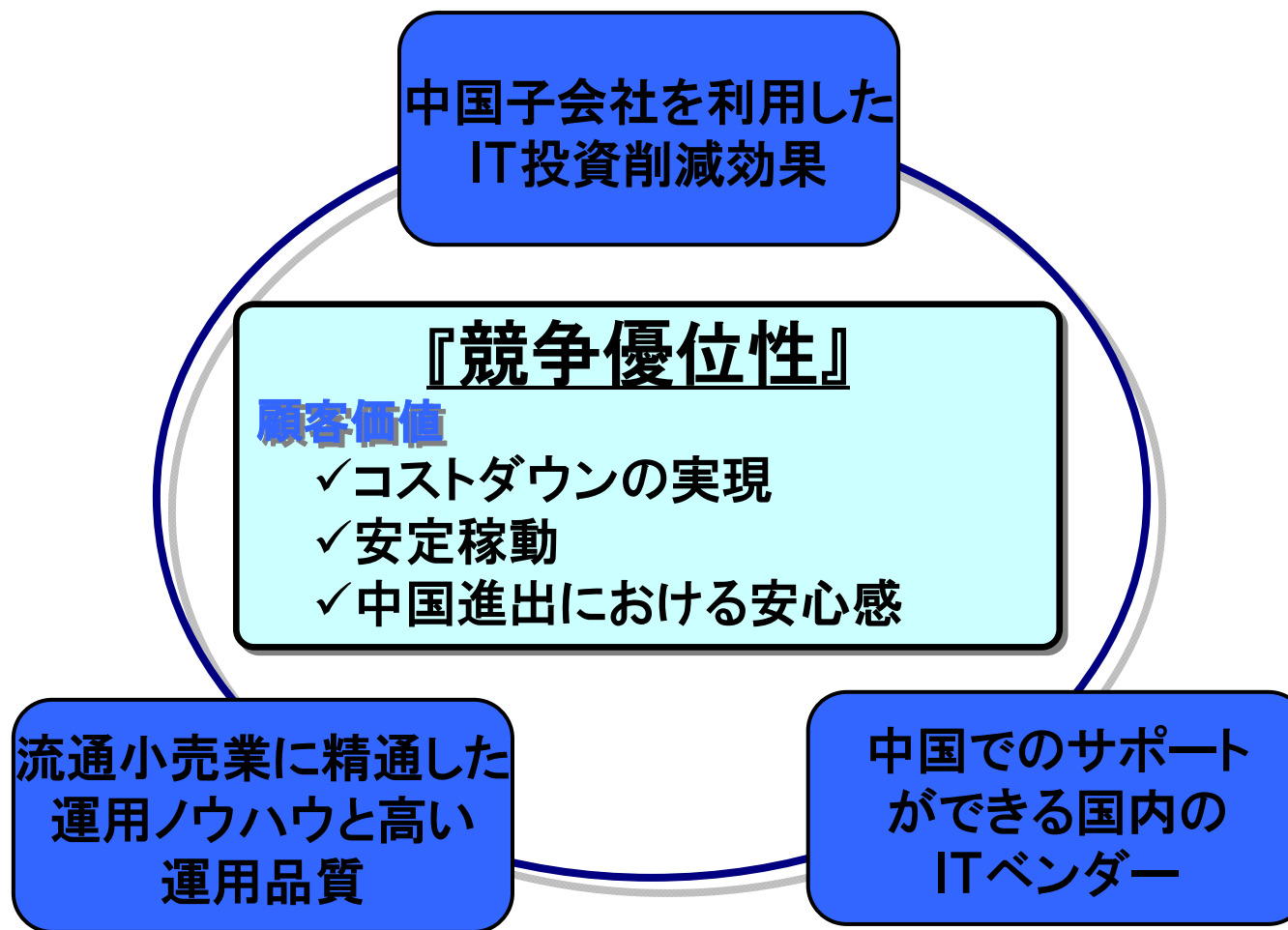
- 株式会社ワールド
- 株式会社ワーナー・マイカル
- 株式会社ダスキン（店舗名：ミスタードーナツ）

#### ■サンマルクグループ様

- 株式会社サンマルクホールディングス
- 株式会社サンマルクカフェ
- 株式会社鎌倉パスタ
- 株式会社函館市場
- 株式会社バケット

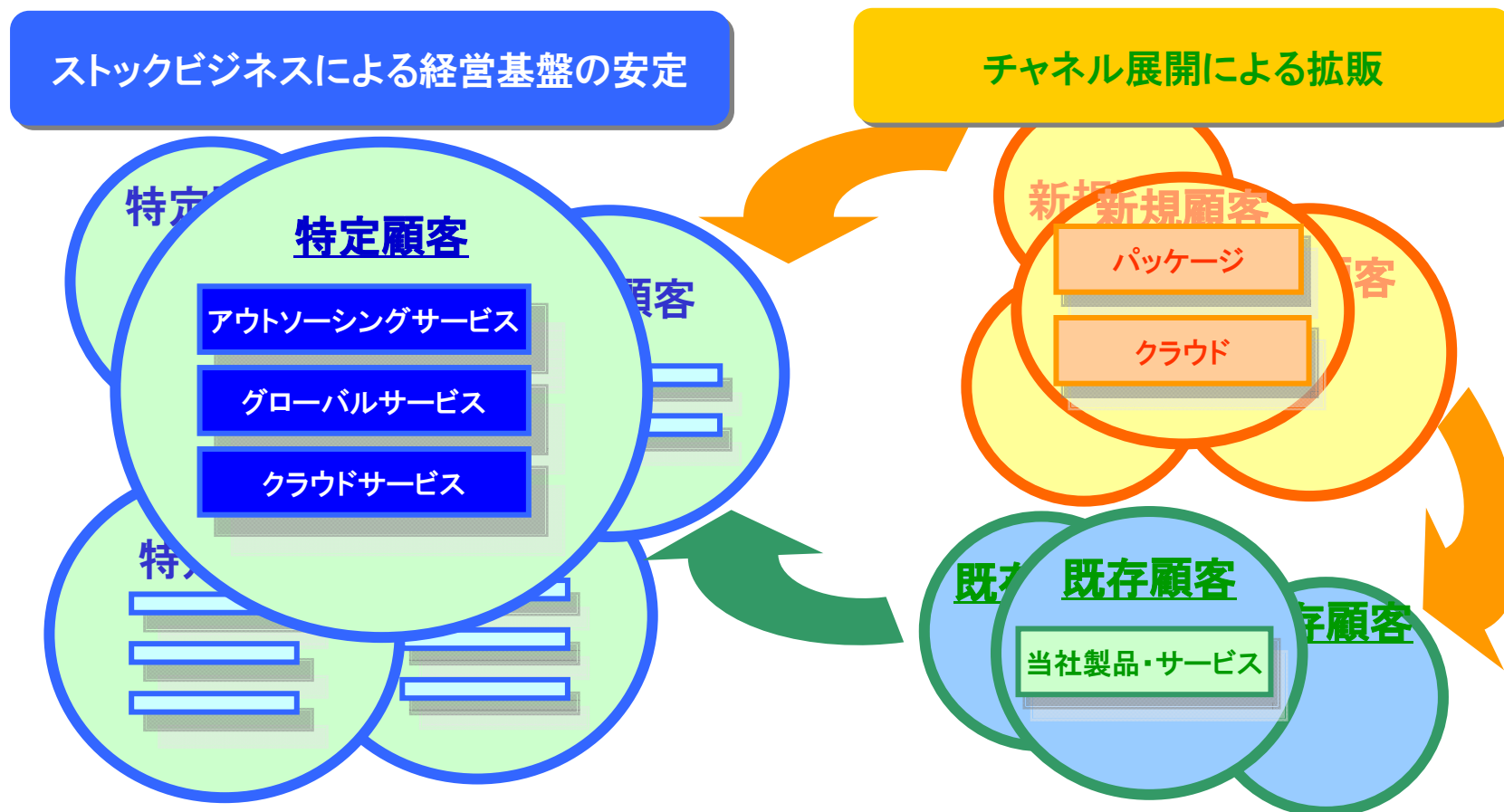
# 直近のトピックと今後の事業戦略

## 当社の特徴と優位性



# 特定顧客化戦略

## 特定顧客化戦略



## 特定顧客化戦略(新会社設立について)

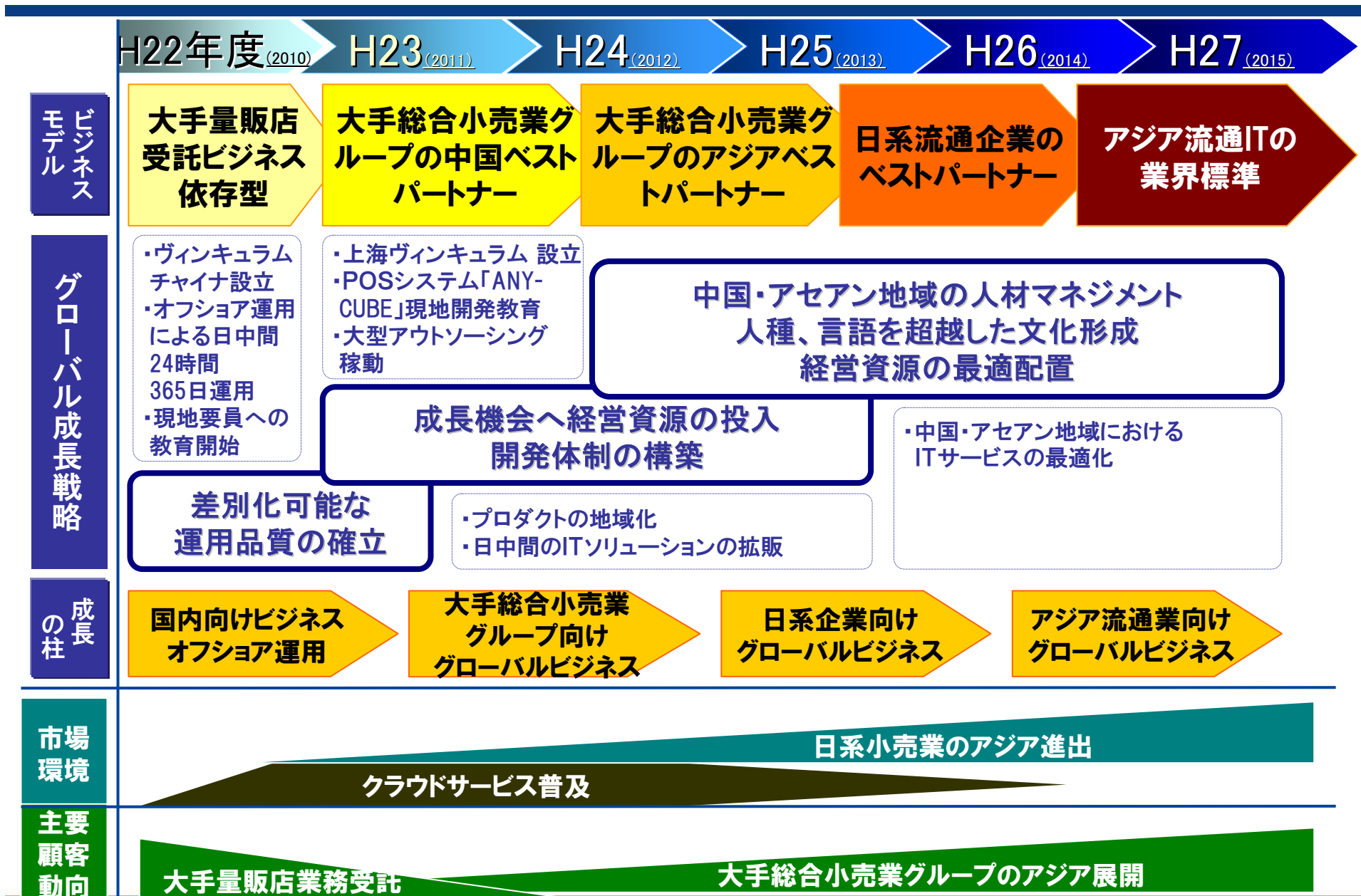
# イオンディライト株式会社との合併による新会社を設立 (2011年10月25日 発表)

当社とイオンディライトは総合FMS事業を支えるIT(インフォメーション・テクノロジー)の新会社を設立し、ITに基づく大幅なコストダウンと競争優位性の向上を図り、イオンディライトグループの事業構造改革を強力に推進するとともに総合FMSを牽引するIT関連ソリューションの提供をおこなう新しい事業の確立を推進してまいります。これにより、イオンディライトは総合FMS事業での新事業分野を開発し、ヴィンキュラム ジャパンは新会社の事業を通じて新たな市場を獲得し、事業規模を拡大してまいります。

### 【新会社の概要】

- ・商号 : FMSソリューション株式会社
- ・代表者 : 柴山 浩 (しばやま ゆたか)
- ・本店所在地 : 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
- ・設立年月日 : 2011年12月7日
- ・主な事業内容 : コンピュータソフトウェアの開発・販売・リース、情報処理サービス、  
情報通信サービス、情報収集・提供サービス
- ・決算期 : 2月末日
- ・資本金 : 95百万円
- ・取得価額 : イオンディライト 133百万円、当社 57百万円
- ・出資比率 : イオンディライト 70%(1,330株)、当社 30%(570株)

# グローバル戦略





# 上海ヴィンキュラムの新サービス

## 中国・上海市に孫会社を設立 (2011年2月28日 発表)

上海ヴィンキュラム(上海新域系統集成有限公司)は、ヴィンキュラム ジャパンの日本における長年に渡る流通ITの経験や実績と中国市場における資格(ICP(証)、ISP、IP-VPN)を保有しております。

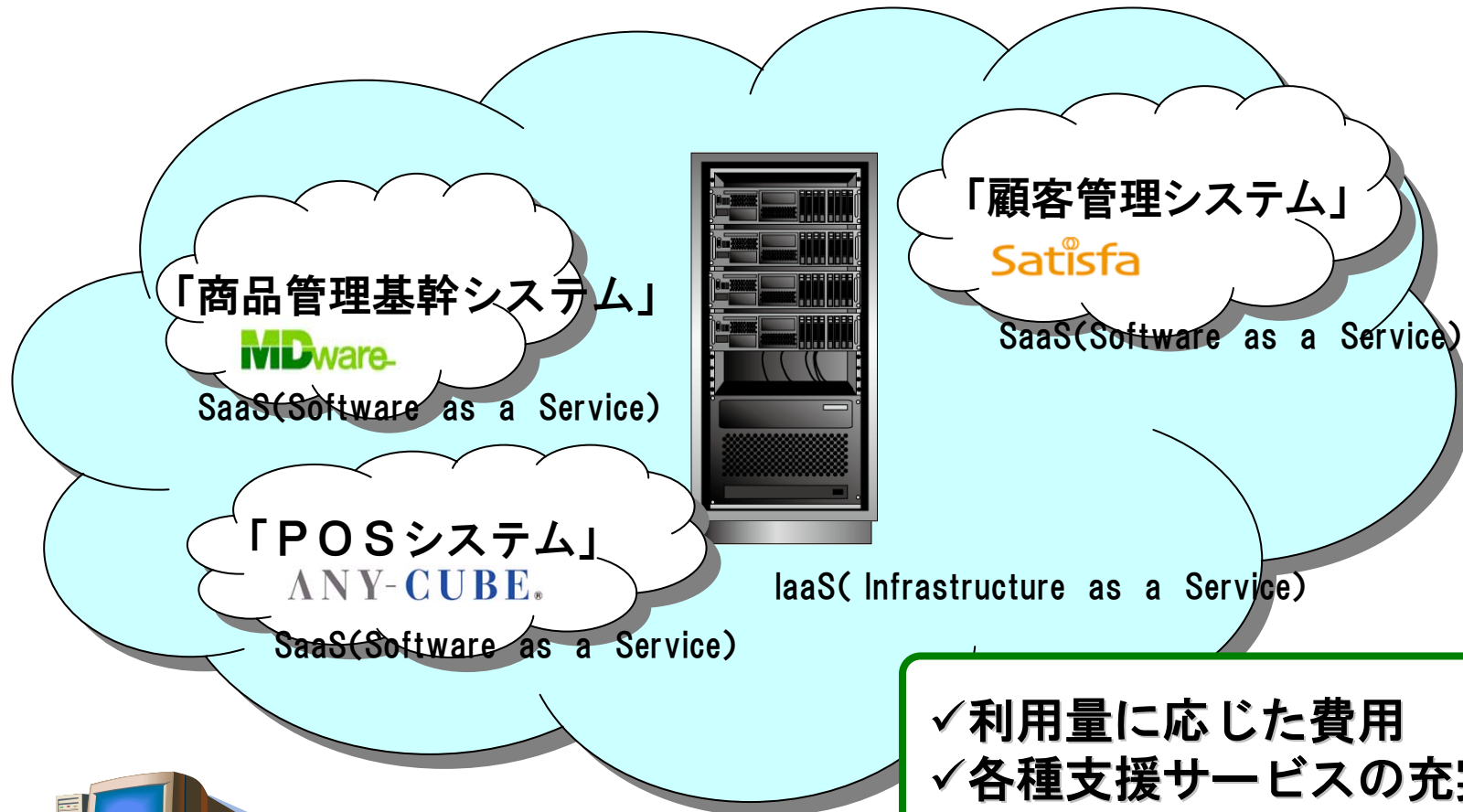
新しいサービス(①回線リセール事業、②eコマースソリューション)は、日中間のコミュニケーションに必須となるネットワークの構築及び中国国内でのデジタルビジネスに必要なソリューションを日本品質かつワンストップで提供できるものであり、今後の事業拡大が期待できるものであります。

### 【孫会社の概要】

- ・商号 : 上海新域系統集成有限公司 (呼称:上海ヴィンキュラム)
- ・英語名 : Shanghai Vinculum Co.,Ltd. (略称:SHV)
- ・代表者 : 黄 曉
- ・本店所在地 : 上海市长宁区延安西路728号华敏翰尊国際広場
- ・設立年月日 : 2011年4月
- ・主な事業内容 : ネットワークの設計構築、再販売、IDC運用及び関連業務、IT機器販売、Webサイト構築・運営、顧客サポート、EC物流及び関連業務
- ・決算期 : 12月末日
- ・資本金 : 240万元 (約30百万円)
- ・出資比率 : 上海新域情報系統有限公司 51%  
維傑思科技(杭州)有限公司 (呼称:ヴィンキュラム チャイナ) 49%

# 商品・サービスの差別化戦略

## クラウド基盤技術(Flexible I/O)



- ✓ 利用量に応じた費用
- ✓ 各種支援サービスの充実
- ✓ 導入期間が最短3日
- ✓ 小規模で開始できる

## 地域化対応

大手総合小売業グループの進出及び進出予定地



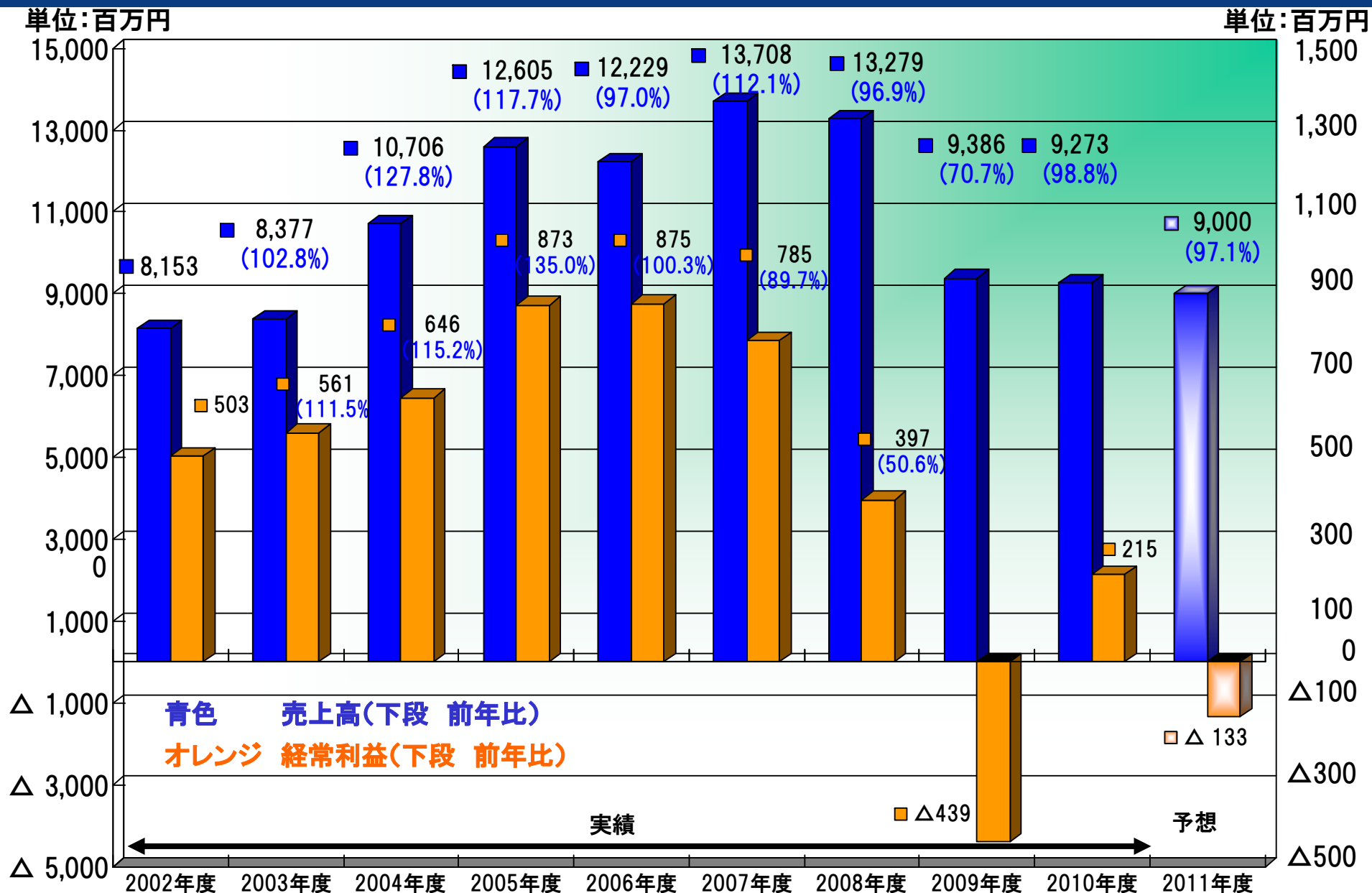
### 地域化対応

- ✓言語対応・・・中国語や英語
- ✓税制対応・・・現地税制や商習慣への対応
- ✓通貨対応・・・マルチ通貨
- ✓集中管理・・・IT運用コストの低減およびIT統制

グローバル展開対応  
商品の拡充

# 数値の状況

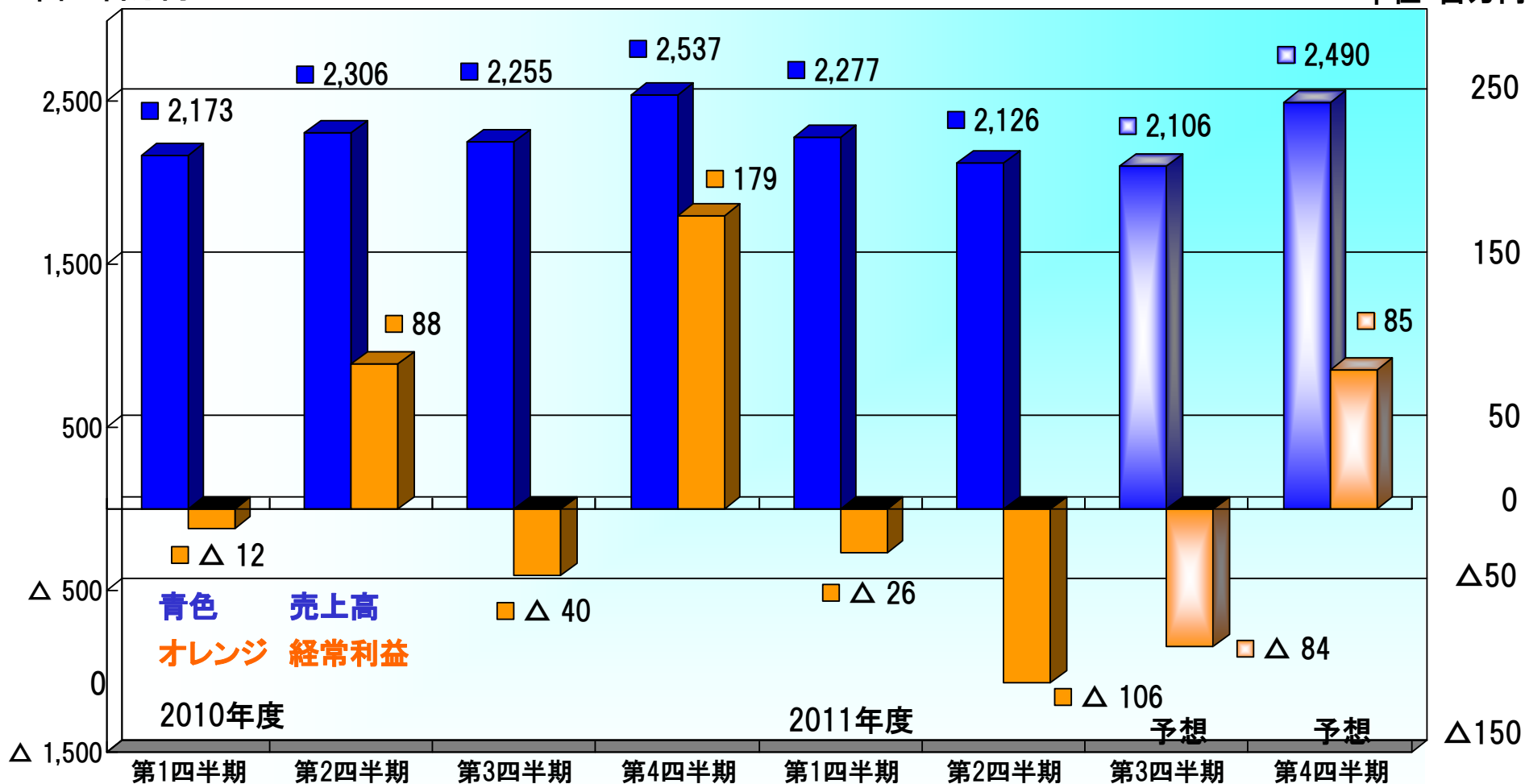
# 連結 売上高・経常利益推移(2002年度-2011年度)



# 連結 四半期別売上高・経常利益推移(2010年度-2011年度)

単位:百万円

単位:百万円



	2010年度				2011年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期 (予想)	第4四半期 (予想)
経常利益率	△0.6%	3.8%	△1.8%	7.1%	△1.2%	△5.0%	△4.0%	3.4%

# 通期業績予想の修正について

## ■通期売上高の修正

売上高につきましては、第3四半期連結会計期間以降も特定顧客化戦略によりアウトソーシング案件の増加が見込まれること、顧客管理システム「Satisfia®」、商品管理基幹システム「MDware®」及びテナント管理システムなどの大型案件を受注したことなどにより順調に推移する見通し。

## ■営業利益、経常利益の修正

大型アウトソーシング案件が徐々に安定稼働すること、大型開発案件が増加することなどにより利益率の改善を見込んでおります。しかしながら、こうした利益率の改善は段階的に進むことが想定されること及びアセアン地域における事業化調査やクラウド開発への先行投資を今後も継続することなどにより、業績の修正を行います。

単位：百万円、% 百万円未満切捨て

【連結】	10月21日発表		5月11日発表 開示対比				前年対比			
	修正開示値	売上比	開示比	開示差	開示値	売上比	前年比	前年差	前年値	売上比
売上高	9,000	—	105.9	500	8,500	—	97.1	△273	9,273	—
売上総利益	1,412	15.7	77.3	△415	1,827	21.5	72.8	△528	1,940	20.9
販売管理費	1,580	17.6	91.0	△157	1,737	20.4	92.0	△137	1,717	18.5
営業利益	△168	△1.9	—	△258	90	1.1	—	△390	222	2.4
経常利益	△133	△1.5	—	△213	80	0.9	—	△348	215	2.3
四半期純利益	△55	△0.6	—	△115	60	0.7	—	△151	96	1.0

# 株主還元について



# 株主様への利益還元について

## 配当方針

当社は、株主様への利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、企業価値の向上と将来の事業拡大のための内部留保を勘案しつつ、安定的な配当を基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される事業規模拡大のための新規事業及び新製品の開発に対して有効に投資してまいります。

業績に連動した利益還元を実施しつつ、安定的な配当の維持に努めてまいります。

当期の配当金額については、今期における利益の回復度合いの判断が難しいため、今後のビジネスの進捗状況を鑑みた上で、1株当たりの配当金額を確定させていただきたいと考えております。





## ＜本資料取扱のご注意＞

---

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

ヴィンキュラム ジャパン株式会社  
管理部 経理財務グループ  
e-mail : [ir@mail.vinculum-japan.co.jp](mailto:ir@mail.vinculum-japan.co.jp)